



アクアイグニス仙台 全国御礼物産フェア Vol.2 福島

地域とつながる「大切な本」を
～心に届ける読み語り～
語り手 小松明子(ナレーター)

日時 ▶ 2月24日(土)/3月2日(土)/3月3日(日)
13:00～/15:00～

場所 ▶ 藤塚の湯 2Fフロント前or1Fフリースペース

本との出会いをアクアイグニス仙台で

－ 本と触れることの大切さ －

藤塚の湯 湯あがり処「ライブラリーカフェ」では、
全国御礼物産フェアの対象地域に縁のある本をセレクトしてご紹介しています。
本の制作の背景を知り、何かを感じ取ってもらえたら幸せです。

－ 本で伝える言葉の大切さ －

「読み語り」をすると、
子どもたちは目を輝かせて言葉をスポンジのように吸収してくれます。
2024年1月から始まった全国御礼物産フェアでは、
「読み語り」で本を言葉で伝えて「本」と「人」を繋ぎます。
自分で読むこと、読んでもらうことが、子供たちの心の成長の一助になりますように。

－ 作品紹介 －

ふくしまからのメッセージ

わすれなぐさ：著 / みみながうさぎ：絵
出版社：第一印刷



東日本大震災では、
津波と原発による災害を受けた福島。
その時の出来事を忘れるのではなく、
正しく知って受け止めることの
大切さが描かれています。
食・歴史・文化の宝庫福島からの
メッセージが伝えられた作品です。

3月3日(日)
著者「わすれなぐさ」さん来館決定。

たかのびょういんのでんちゃん

高野己保：原案 / 菅野博子：作・絵
出版社：岩崎書店



30年前に病院にやってきた、
ディーゼル発電機の「でんちゃん」
地震、津波、停電の危機の中、
でんちゃんは旧型の体にむち打って
5日間発電し続けた、
実話を元にした作品です。

語り手 小松 明子(こまつ あきこ)

仙台出身。地元仙台でフリーアナウンサーからスタート。25歳で東京に拠点を移します。
「モーニングEye」「スーパーモーニング」といったワイドショー、銀行のATMの声や、
「行列のできる法律相談所」のナレーションなど5万本の作品に声の提供する現役のナレーター。
幼稚園や小学校の親御さん向けの読み聞かせ講座も行っています。
アクアイグニス仙台の顧問でもあり、
復興のシンボルとなるこの場所で「本」による貢献活動も行っています。